

稚内市観光振興計画

— 一人ひとりの観光客を迎え入れる稚内観光地づくり —

平成 22 年 3 月

稚 内 市

ご あ い さ つ

近年、日本や世界の経済情勢が刻々と変化するなかで、人の安らぎであり、未知の情報の探索でもある「観光行動」は、団体型から個人型へとその形態を変え、旅行者のニーズも以前と大きく変わりました。

国は、平成 20 年度に観光庁を設立し、「観光立国推進計画」をもって日本の観光戦略の主軸を海外に位置づけ、国際観光推進による国際社会の樹立と、国内需要の拡大による国内景気の回復を目指しています。

また、それに伴い北海道では、北海道観光振興機構を設立し、構成員を観光業の多種部門から人選することで組織総合力の強化を図りながら、北海道の観光誘致促進に努めています。

しかし、残念ながら、全世界的不況と景気低迷により、国が考える経済活性化は、いまだに実現されておらず、稚内市におきましても、市民の皆様のご期待に副う状況にはなっておりません。

今後、稚内をより住みやすいまちにするためには、「観光」が、稚内の基幹産業として最大限に機能する状況を創り上げなければなりません。

そのためには、「観光再生」を稚内市経済復興のテーマに掲げ、いままでの観光施策とは異なる、現代の観光ニーズにあった観光施策を打ち出し、具体的に展開する方向を示すことが必要であり、この度、「稚内市観光振興計画」を策定いたしました。

稚内には、稚内にしかない「稚内の自然」と「稚内の魅力」が沢山あります。

これからは、それらの資源を活かした「稚内らしさ」を最大限に発揮し、「稚内が今回の観光の目的地です。」と言われるような「観光地」にならなくてはなりません。

そのためには、「観光地」としての受け入れ基盤の整備と、最北の稚内観光をPRするための観光誘致宣伝体制を確立しなければなりません。

今の「稚内観光」に、この 2 本の柱がしっかり地に根をはることで「観光地」としての位置づけができ、現在実施している数多くのイベントやいろいろなまちおこし運動が活かされ、充実した稚内観光が推進できるものと考えます。

沢山の魅力があふれる稚内に来て、稚内に満足し、稚内に感動を覚えて帰っていただけることが、市民の喜びでもあり、さらに、稚内が北宗谷のリーダーになることで、広域観光の発展に繋がるものと考えています。

本計画の策定により、平成 22 年を「稚内観光再生の元年」と位置づけ、市民と行政が一体となり、新しい時代へ、新たな感覚をもって観光振興を図って行けるよう、市民の皆様とともに努力してまいりたいと思います。

最後になりますが、今回の「稚内市観光振興計画」の策定にあたっては、最初に稚内観光振興の考え方を示すことが重要であり、これに対するご助言とご指導を賜った、北海商科大学「准教授 細野昌和 氏」に、衷心より感謝を申し上げます。

平成 22 年 3 月

稚内市長 横 田 耕 一



